

Kami Town Council News No.79

かみ議会 だより

令和6年9月定例会



兎塚小学校
運動会

今月のトピック

香美町議会議員改革調査
特別委員会協議結果!!

香美町議会の情報はこちら



香美町議会

協議結果!!

議員改革調査特別委員会

(議長を除く14名で構成)

委員長 小谷 康仁 副委員長 東垣 典雄

【調査事項】

- ◆議員の働き方(議員定数、議員報酬、政務活動費)
- ◆議会の見える化(デジタル化、本会議・委員会の会期)



3月～7月までに
5回の委員会を開催

【調査結果】

- ◆議員定数(現行の16人とする)
- ◆議員報酬(現行のとおり214,000円とする)
- ◆政務活動費(現行のとおり月額1人当たり5,000円とする)
- ◆デジタル化(自席にて賛否を示せる等の装置を予算計上する)
- ◆本会議・委員会の会期(現行のとおり)



各議員の意見

	議員定数	議員報酬	政務活動費	デジタル化	会議・委員会
谷口	「議員定数の見直しはしない」という議会決定を尊重する。	議員報酬の引き上げは町民の理解が得られないので、現状維持とする。	「現状維持」という会派代表者会議決定を尊重する。	本会議案内の映像配信機器とタブレット端末の配備の検討を進める。	現行でよい。
松岡	R4年頃から実質14人での議会が続いたり、現在でも定数に対して1減の15人体制である。よって定数削減しても大きな影響はないと考える。	県内町議会平均を見ても香美町議会議員報酬は平均以下。議員選挙に立候補する動機を下げる報酬額であると考え。	会派を通じての支払いではなく、議員個人に支払う方がよいと考える。	「議会におけるデジタル化調査特別委員会」で結論付けた通り、本会議、委員会とも、タブレットを導入すべき。	現行のままでよい。
西川	5項目すべての議論の必要性は感じるものの、我々議員の残された任期と予算計上しなければならない期間等を考えると、十分に議論する時間はなく、拙速な結論になりかねない。無責任な形での議論は不要である。				
南垣	本委員会において次代につなげる為の調査として、パブリックコメントや町民に対する意見徴収アンケート、聞き取り調査など行うこと。	業務量に応じた報酬となるよう活動に費やす時間、熱量を調査、研究し増額ありきでなく、減額の必要性も含めて議論の必要があるのでは。	会派代表者会議において増額不要と判断されたが、多くの活動を行ない不足するなら、しくみづくりを研究する必要があるのでは。	オンライン委員会の開催、必要な議員だけでもタブレット等の議場持ち込み、資料参照など早急に導入すべきと思う。	通年議会含め夜間開催など職業を持つ方の参入しやすい環境作りの必要性を研究。
西谷尚	進めるにあたって以下の内容の資料が必要かとおもいます。 ・兵庫県下において、全国において、住民の数と議員定数の比較表、議員の報酬一覧表、政務活動費の一覧表、議会のデジタル力の取り組みと進捗状況の一覧表、兼業・兼職の県下の動き、長期(3ヶ月以上)休業の場合の議員手当の取扱(規定がない)、産休・育休の取り組み、など議会改革に関する項目は多くあるが、思いついた点をあげさせて頂きました。この中で何を優先的に取り組んで行くかだと思います。				
田野	議員定数削減については反対です。	「報酬」の性質から議員の価値をあげることが先である。	会派代表者会議の決定を尊重する。	タブレット導入は早急に進めるべきだ。議場システム等の高額なシステムにおいてはその費用対効果や予算等の検討及び説明責任が伴う。	現行でもよいと思うが、通年議会制も検討の余地あり。
藤井	基本的に定数削減に反対。議会を取り巻く環境や状況変化において、やむなく削減するのであれば、議員報酬を兵庫県町平均25,26万円に。	議員報酬を兵庫県町平均25,26万円にする。	現状維持でよい。	タブレットありきではないが、まず、入り口としてタブレットを議員全員が持って個人差があるろうと研鑽すべきである。	現行どおりでよい。
見塚	R5.7.24の全員協議会で検討しないことで決定済。	審議会での検討が必要。	R6.1.26会派代表者会議で現状維持と決定。	①R5.3.2報告の特別委員会報告の結果について協議しておらず方向性を決めていない。 ②議場設備については当局と協議を重ねることが必要。	調査・研究されたい。
森浦	少子高齢化がますます進んでいる中、見直しを検討する必要があるのでは。	議員定数とセットで考えるべきでは。	不足しているところがあるので上げるべきでは。	早期に進めるべきでは。	現在のままで良いと思います。
吉川	議会として、何のため、誰のため、なぜ改革をするのかの共通認識ができていないでの議論の余地はありません。				
	終わった話。	これ以前に必要な議論がある。	これ以前に必要な議論がある。	必要であるが、そもそもやる意味とは。話す前に必要な議論がある。	必要であるが、そもそもやる意味とは。話す前に必要な議論がある。
西谷高	定数16名は必要。人口減少だが議員が行動する範囲・面積は変わらない。各委員会の人数が減れば調査研究にダイナミズムが失われる。	時代に合った報酬にすべきである。議員専門の志の方もいる。特に若い世代の議員、女性議員の為に現在より上げるべきである。	現在の月5,000円の活動費で良い。	議会のデジタル化導入は必要。行政のデジタル化に対応するため、タブレット端末を導入し情報システムの標準化、共通化をするべきである。	本会議：現状の周期で良い。 委員会の会期等：町民の方との懇談会、座談会を開催する。
東垣	議員定数は、一度削減すれば増加は不可能に近い。定数削減は、議会改革ではない。議会改革は地域民主主義の実現をすること。	議員報酬は、生計を維持できるほどの生活給ではない。役務の対価。町民に理解される議員活動と特別報酬審議会への働きかけをはかる。	現在の金額を満額活用実績がなければ増額要求は難しい。	タブレットを導入すれば議会DXの考えから脱却が必要。デジタル化を議会からみるのではなく、町民に議会内容をどう伝えるかの議論が必要。	通年議会の導入をする。
小谷	14名にする。本町合併時に議員一人当たりの町民の数を1,164人とし、議員定数を決めている。現在は16,000人弱であるので14名が妥当。	25万円にする。首長の30%を議員報酬とするのが妥当である。町長の月収が752,000円なので、250,000円。	月額10,000円にする。兵庫県の政務活動費の平均が10,000円なので、それに準ずる。	進めるべき。まずは、議場システムを新しくし、次にタブレットを導入。タブレットは、行政との連携が必要。合わせるのが良い。	現状のままで良い。

香美町議会議員改革調査特別委員会 委員長報告

本委員会は、議員発議で設置され、議長を除く、全議員14名で構成し、5回の委員会を開催しました。結論の結果次第では、次年度予算に関わる事項があるため、9月定例会を目標に委員会を進めて行きました。

調査事項は、議員の働き方については、議員定数、議員報酬、政務活動費、議会の見える化については、デジタル化、本会議・委員会の会期について行いました。協議の結果として、議員定数は現行の16人とする。議員報酬は、現行とする。政務活動費は、現行とする。デジタル化については、議場システムを予算計上する。会議の会期については、現行のままで良い。との結論に至りました。

特に次年度予算に関わるデジタル化は、タブレット導入の意見が多く伺えましたが、本委員会におけるデジタル化とは、人事案件など賛否を示すのに時間を要するため、その解決策として自席にて賛否を示せる等を盛り込んだ装置導入を求めるものです。本委員会の結論の導き方は、町民の代表である議員一人一人の意見を伺い、協議を進めました。色々な意見が出ましたが、多くを占める議員の意見を尊重し、結論としました。何故なら、町会議員は、町民から選ばれた代表者で、議員一人一人の意見が、町民の声だからです。

以上をもって、香美町議会議員改革調査特別委員会報告を終わります。

議員個人による町との請負が、 300万円まで可能に！

香美町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定

(条例制定の趣旨)

地方自治法の改正により、議員個人に係る請負に関する規制が緩和され、一会計年度の取引額が一定の額を超えない場合は、規制の対象外とされました。しかしながらこの規制緩和により、「議員の職務執行において公正・適正」を損なうことにならないように、請負の状況を公表することにより、議員個人の請負状況の透明性を確保し、議会運営の公正及び事務執行の適正を図るため、本町議会において、議会独自の個人情報保護条例を制定するものです。



岸本 正人 議長の 議長辞職勧告決議

今定例会に2件の岸本正人議長の議長辞職勧告決議（案）が発議されました。

南垣誠議員より発議第4号が、谷口眞治議員と森浦繁議員より発議第5号が提出され、それぞれの趣旨説明の後、一括して審議が行われました。質疑はなく、森浦繁議員の賛成討論の後、賛成少数で否決となりました。

発議第4号 提出者 南垣 誠 議員

議長就任当初より議事進行の不利、議長席での独り言などがあり、副議長や議員らが再三指摘してきた経緯がある。自ら解任決議でも出してもらってと言われたり、議会会議規則に反する行為をする者に注意しないなど、意識が低いと言わざるを得ない。

町民の方からも議場に緊張感がないと言った声も届き、采配に関する不満の声も大きくなってきたが改善される意思が感じられない。これらのことから正常な議会運営は到底困難であると考えます。

発議第5号 提出者 谷口 眞治 議員・森浦 繁 議員

今定例会初日に提出した資格決定要求書の受理を拒否した。議会運営マニュアルによれば、形式的要件が整っていれば受理しなければいけないとしている。議長自らが議会運営のルールを破り、無視する暴挙と言わざるを得ない。

さらに、議長の資格決定要求書の受理拒否は、議員が議案を提出する権利を奪い、議員による特別委員会で審査する権利をも奪うものである。

そして何よりも、町村の事務執行の客観的公正さを担保しようとする制度そのものを全面的に否定するもので、議長の資格は全くない。



なぜ、議長は谷口議員が提出した資格決定要求書の受理を拒否したのか。議員必携に書いてある通りの資格決定手続きを進めて、資格審査特別委員会で審査すべきです。

三にわたり注意を受けていたようですが改善する気配もありません。

各地で議場の雰囲気や独り言の音声、議長の言動についてなど、町民の方からの声が聞こえてきます。同僚議員の皆様にもそういった声や実際に肌で感じることもあるのではないのでしょうか？中立的な立場から采配するのが議長の職責です。再

賛成討論

森浦 繁 議員



令和5年度決算を認定!!

9月定例会8月29日に決算特別委員会(藤井昌彦委員長)に付託された令和5年度一般会計及び5特別会計決算は、慎重審議した結果、すべて可決しました。

◆一般会計

質疑

●総務課

問 メンタルヘルス相談業務委託料の利用実績は。

答 町職員が逮捕される事件が起き不安に感じる職員への心のケアのため、公認心理士のカウンセリングを7回開催し、述べ36人の職員が受けました。

●町民課

問 いつまで処理水を生田川へ放流するのか。

答 現時点で処理水は水質基準を満たしており、問題ない状況にあります。

●財政課

問 財政調整基金の目標額は。

答 令和7年度決算の目標額を30億円以上としています。

●企画課

問 タクシー運行継続支援事業補助金の実績効果は。

答 タクシー事業者に6百万円を交付しました。本補助金がなければ町内でタクシー営業所の存続が不可能であったことから、公共交通の維持・確保の観点から効果はあったと考えています。

●防災安全課

問 台風7号の応急復旧と災害ボランティアの詳細は。

答 応急修理の内容は、1世帯当たり準半壊34万3千円、半壊以上で70万6千円、間室区18件、三谷区1件、小城区1件の合計20件、金額は112万5106円です。

8月17日に社会福祉協議会に運営を委託した町

右から藤井委員長、谷口副委員長



災害ボランティアセンターを開設し、9月1日までの11日間延べ124名のべ391件で被災住宅の家財の搬出や清掃、床下の泥出し、床板や家屋内の拭き掃除、土砂の撤去をしていただきました。

●税務課

問 町税収入未済額の内容は。

答 現年度収納率は99.5%と高水準を維持しており、滞納繰越分を合算した次年度への繰越額は過去最少を更新し続けており、滞納整理事務が順調に進んでいる結果です。

●教育総務課

問 香住区小学校等再編検討委員会の実績、課題は。

答 通学方針(1)基本方針①編入される校区はバス通学とします。

②現在、JRを利用の銚校区はバス通学に変更します。
②第1次再編後の通学

方法

①奥佐津校区は、スクールバスとします。

②佐津地区のうち、訓谷及び無南垣地区は、町民バス(一部スクール専用便)とし、その他の地区はスクールバスとします。

①通年利用希望者が5人未満を除き、現在の小学校区で開設します。

②各小学校区のクラブから選択になります。

③基準を満たさず旧小学校にクラブが設置されない場合、最寄りのクラブを利用できます。

④基準以下でのクラブ開設の可否、途中での利用変更は個別に対応します。

今後の課題

通学方法を早期に決定し準備することで、子どもたちが新しい学校に溶け込めるように事前交流を図り、廃校の利活用についても地域や保護者の意見、要望をしっかりと聞くことが課題です。

●こども教育課

問 教育相談センター運営での不登校の問題の内容及び成果は。

答 生活リズムの崩壊、発達特性、家庭環境の問題、成長期の心の不安定等で令和5年度不登校児童生徒は28名です。

センターは保護者からの相談、不登校傾向にある生徒の情報収集で直接、学校へ訪問し現状把握に努めています。

本人はもとより、保護者への支援、また同じ悩みを持つ保護者同士が繋がり、助けあう場所であり、精神的に支えられる機関です。

登校できるようになった生徒もいますが、早退や遅刻が増え、把握できなかった事例があり、引き続き新規不登校の抑制、未然防止に努めていきます。



生涯学習課

問 ふるさとゆかりの偉人漫画「前田周助」物語の販売は。

答 この物語は、B&G財団の助成事業を活用し小中学生が郷土の偉人を知り、ふるさとへの愛情と理解を育み、将来の生き方を考えることを目的に2千部作成しました。買い求める問い合わせが多数あり、令和6年度から村岡観光協会において1冊300円で販売しています。



発行された前田周助物語

建設課

問 無南垣訓谷線消電施設更新工事の完了予定は。

答 早急に用地買収の手続きと工事請負契約の変更を進め令和6年12月の完成を予定しています。

村岡地域局

問 村岡有機センター車両購入について。

答 ①なぜ4WDでないのか。②4WDでないのにスタッドレスタイヤが必要なのか。③冬季は使用しません。④勾配のきつい坂道等があり、スタッドレスにしました。



健康課

問 こども医療費助成事業の所得要件等は。

答 保護者(扶養義務者)の町民所得割額の合計額が23万5千円未満の方を対象としています。

福祉課

問 介護職員確保対策事業の実績と課題は。

答 平成29年4月以降に採用され助成を受けた人数は67人です。その内、町外から移住1人、外国人16人、事業助成は延べ13社、研修受講者は延べ60人で新規、継続雇用に一定の効果があつたと考えますが、正規職員の確保が難しい現状が続いています。

農林水産課

問 「香美町の水産を考える会」現況は。

答 将来変化に関わらず、必要な事から着手し、展望に繋がる西港集約拡張整備方を計画し、各場面での状況を検証し、拡張等の適正化を進める方針に意見集約しました。

観光商工課

問 ふるさとづくり基金が大きく増えた要因は。

答 ①各事業者と協議を重ね品切れにならないよう人気返礼品の確保に励みました。②返礼品の写真の撮り直し、文字入れ画像③ページ構成の見直し等でふるさと納税ポータルサイト内の返礼品のページの作りこみをしました。④大相撲懸賞旗、ふるさと納税ポータルサイト内の広告、グーグル、ヤフーを活用した検索運動広告を適切に運用しました。

上下水道課

問 し尿処理、浄化槽汚泥の課題は。

答 広報紙、チラシで周知して早期に下水道接続

総括質疑

町長

問 乳幼児・子ども医療費の所得制限の廃止、完全無償化が課題では。

答 国においての子育て世帯への支援拡充を踏まえ、次年度に向けた予算編成の中で検討しています。

問 令和5年台風7号の河川改修の矢田川・美の谷川のハックウオーター対策の進捗は。

答 調査設計段階であり、令和6年度中に一部護岸の高上げ工事に着手、令和7年度以降に残る護岸の高上げ、橋梁部の改修を予定しています。現在、堤防上に大型土嚢を300mにわたり設置し、応急対策を実施しています。



ふるさと納税感謝賞旗

問 令和5年度不用額について、不用額を年度中に減額補正をし、新たな事業に付け替えるべきでは。

答 必要である施策、事業の財源不足が考えられる場合は、財政調整基金の取り崩しなどにより予算措置を行ってきまして、不用額を減額しなくても十分な住民サービスの提供ができたものと考えています。

問 財政調整基金に目標額はあるのか。

答 令和7年度決算における目標額の30億円はすでに超えており、今後とも将来を見据えて保有しておくべきという考えです。



● 教育長

問 村岡高校生ひとり1
力月4万円の下旬代を助
成する高校魅力化支援事
業を香住高校にも適用し
てはどうか。

答 香住高校において対
応を検討していただくべ
きという町長答弁がある
ことから、今後も海洋科
学科の対応については、
高校で検討していただ
べきと考えています。

討 論

反対討論 谷口 眞治議員
①コロナに便乗し、マ
イナ保険証の導入推進
②奥佐津余部町民バスの



実証実験効果を認めなが
ら令和6年10月に導入し
なかつた。

③町営住宅改修工事請負
契約の瑕疵。

④台風7号の農地、農業
施設激甚災害分担金を徴
収している。

⑤最終処分場の処理水を
矢田川に放流している。

⑥公民館講座の高齢者大
学受講料の徴収

これまで指摘したこと
が達成されていない。

賛成討論

南垣 誠議員

台風災害や猛暑への対
応を苦慮しながら後世に
つけを残さない、住民の
思い、願いに寄り添う形
で編成した予算であり、
議員が提案した事案も随
所に見られ、予算執行に
全力を傾注、取組んでい
る。

多額の不用額を発生さ
せたことは香美町の未来
を担う子どもたちへの応
援、その子どもたちを生
み育てる支援をすること
がもつてきたものではな
いかと疑念が残る。

次年度予算に向け、子

どもたちに夢と希望を与
える町づくりに関がる決
算であると信じる。

賛成討論

西谷 尚議員

物価、燃油高騰に対し
ての商品券配布、中小企
業者原油価格等高騰支援
金は町民に寄り添った政
策を素早く行なったもの
であった。

台風7号ではレベル5
(緊急安全確保)が発令
され土砂崩落による住宅
半壊、浸水等に対し執行
部をはじめ各職員が迅速
に応急対応したこと。

能登半島地震への素早
い対応や被災地への支援
ふるさと基金約12億円、
各基金の活用など将来に
繋がる財政運用に取組ん
だ。突発的に発生した災
害に対応する健全な財政
基盤であった。

賛成多数で可決



特別会計

◆ 国民健康保険事業

特別会計

問 診療所の設置目的と
決算分析結果は。

答 人口減少、高齢化で
患者数の減少し診療報酬
収入は減っていますが、
設置目的である地域住民
の医療を確保して安心安
全を守るため、可能な限
り、維持継続に努めてい
きます。

討 論

反対討論

谷口 眞治議員

①県一本化の医療水準
の平準化は保険料を上げ
ることになる。

②2536円の引き上げ
はコロナや物価高で困っ
ている町民の生活を苦し
める。

③子ども均等割りを就学
児にも拡大するべき。

賛成討論

小谷 康仁議員

町の医療費抑制対策と
してレセプトの調査、糖
尿病予防教室、生活習慣

改善相談会、食育教室、
歯の健康づくり、町ぐる
み総合健診、人間ドック
受診者への助成、ジェネ
リック薬品費差額通知事
業などしっかりと対応して
いる。

賛成多数で可決

◆ 後期高齢者医療保険

事業特別会計

問 他市町と比べて被保
険者の負担区分比率は。

答 1割負担は県下で高
い方から3位、2割負担
は38位、3割負担は30位
です。

討 論

反対討論

谷口 眞治議員

①75歳以上で窓口負担
が1割から2割に増える
方が564人となる。

②75歳以上対象者を別保
険にした年齢差別であり
高齢者いじめの制度であ
る。

賛成討論

小谷 康仁議員

所得に応じた負担を求
め、低所得層の負担を軽



減しており、医療費を世
代間で公平に分担する持
続可能な制度で、医療
サービスの質を向上させ
高齢者が安心して医療を
受けられる。また、現役
世代の負担を軽減する効
果があり高齢者を支える
社会全体の負担を抑えて
いく制度です。

賛成多数で可決

◆ 介護保険事業

特別会計

問 地域ケア会議で検討
した拡充、新規の政策は。

答 第9期高齢者福祉計
画・介護保険事業計画の
策定とそれに至る経緯と
事業展開ポイントを説明
しました。「香美町高齢

者及び障害者虐待防止ネットワーク委員会」の協議で成年後見人制度普及啓発等の推進を目的とし、上記委員会に権利擁護機能を付加する形で令和6年度に「香美町権利擁護ネットワーク委員会」を設置します。

賛成討論 小谷 康仁議員

経済的に余裕がある方から保険料を徴収し低所得者の介護サービスの質的向上を目指す家族だけでなく、社会全体で介護を支えていく制度である。

全員賛成で可決

◆財産区特別会計

全員賛成で可決

◆町立地方卸売市場

事業特別会計

全員賛成で可決

追加議案

9月定例会において追加3議案が提案され、すべて原案通り可決しました。

◆地域防災拠点整備工事の請負契約を締結することについて

(1) 入札形式

制限付一般競争入札

(2) 落札者

株本・北村特別共同企業体

(3) 落札金額(税別)

2億7300万円

(4) 落札率

98%

質疑

問 平面図を見ると、発電機が1階にあるが、なぜ水没等を考え2階に設置しないのか。

答 発電機は固定式なので2階に移設することは考えていません。又、燃料タンクも必要で2階では無理です。

◆令和6年度香美町一般会計補正予算(第5号)について

兵庫県知事失職に伴い50日以内に選挙を行わなければならない事により、選挙に関する必要経費を補正で予算化する。

(内容) 選挙に関する人件費・投票所費用・看板設置費用等。

(予算額) 1872万9千円

条例改正

9月定例会において条例改正2件が提案され、すべて原案通り可決しました。

◆国民健康保険条例の一部を改正する条例を定めることについて

質疑

問 現在の紙の保険証は来年以降どうなるのか。

答 マイナンバーカードを持っていない方、保険証の紐づけができていない方は、資格証明書を発行して対応します。なお、有効期限は従来の保険証と同じです。

討論

反対討論 谷口 眞治議員

12月2日から紙の保険証を廃止しマイナ保険証を導入する条例改正に反対。そもそもマイナンバーカードをつくることは任意であり、廃止そのものが事実上の強制となる。

◆個別排水処理施設条例の一部を改正する条例を定めることについて

質疑

問 ①処理施設の工事費 ②利用料金は。③利用者は。移住者かどうか。

答 ①171万6千円です。

②通常と同じで水道の使用量に対しての請求です。

③町外の方です。

問 水道使用料と同じ料金負担という説明だが、住まわれなくなる可能性がある施設に対しての高額負担、維持管理が発生する可能性がある。そもそもこの制度のままなのか。

答 定住してもらえよう努力していきます。

問 特定の地区だけの制度か、公平性に欠ける制度ではないのか。

答 指定されている区域での適用となります。

問 今回の設置にかかる個人負担は。

答 負担金は頂いていません。

補正予算

9月定例会において改正7議案が提案され、すべて原案通り可決しました。

◆一般会計(第4号)

質疑

問 地域インターネット運営事業費の衛星通信サービス利用料の詳細は。

答 企画課長 光サービスの未提供地区で、インターネットサービスの提供の可能性を調査するための費用です。今年度調査をし、内部協議をした上で、未整備地区の世帯に提供できる助成制度も検討します。

問 ワークেশション推進事業費としてコワーキング開設支援事業補助金があがっていますが、どの程度の需要を見込んでいるのか。

答 企画課長 利用者の需要は確認していませんが、町内民間事業者が県の補助金を活用される場合の随伴補助として支援します。

問 新型コロナウイルスワクチンの接種ですが、自己負担があれば、ワクチンを接種しない人が出るのではないかと思うが、これに対する対策は考えているのか。

答 健康課長 基本的には、コロナ予防接種についても、インフルエンザについても、自分の考え方で責任を受けて頂くので、特に努力義務とかはありません。自己負担がかかりますが、接種した時の有効性、安全性も各自で判断して接種して頂いています。

討論

反対討論 谷口 眞治議員

町民の皆さんが物価高に悲鳴を上げている声に、町長にはそれが聞こえていない補正予算。物価上

昇に賃金が追いつかない。実質賃金の減少は、ピーク時の1996年から74万円も減少。そこに異次元の金融緩和の物価高が襲い、町民の暮らしが現在最悪の状態になっていると考える。

今補正では、財政調整基金への積み立てをし、ここに十分暮らしを応援する予算があるのに、使わないで貯め込む。これでは、福祉の心を投げ捨てる予算ではないのか。町単独の商品券事業支援の早急な補正予算を求めて反対。

◆公立香住病院事業
企業会計
質疑

問 職員給与費が大きく減額補正となっているが、内容は。

答 病院事務局長 当初予算編成後の職員の人事異動によるものです。特に大きなものは、7月末に看護師2名が退職しました。また産休や育休の職員もいます。それから、

医療技術者の1名が、当初は4月からの採用予定でしたが、9月からとなり、半年近い分を削除しており、全体的に減額となっています。

議案の審議結果

※賛否が異なった議案のみ掲載しています。

議案番号	議案名	谷口 眞治	松岡 大悟	西川 誠一	南垣 誠	東垣 典雄	西谷 尚	小谷 康仁	田野 公大	藤井 昌彦	見塚 修	森浦 繁	上田 勝幸	吉川 康治	西谷 高弘	岸本 正人
113	香美町国民健康保険条例の一部を改正する条例を定めることについて	×						欠				×				—
115	令和5年度香美町一般会計歳入歳出決算の認定について	×										×				—
116	令和5年度香美町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	×										×				—
117	令和5年度香美町後期高齢者医療保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	×										×				—
121	令和6年度香美町一般会計補正予算(第4号)	×						欠				×				—
発議4	岸本正人議長の議長辞職勧告決議について		×	×		×	欠	—	×	×	×		×	×	×	除斥
発議5	岸本正人議長の議長辞職勧告決議について		×	×		×	欠	—	×	×	×		×	×	×	除斥
発議6	香美町議会議員の請負の状況の公表に関する条例	×										×				—

空白…賛成、×…反対、欠…欠席 ※議長は採決に加わりませんので「—」で表示しています。



すでに空き校舎となった奥佐津小学校

総合戦略の基本目標、香美町における安定した就業の場を創出するについて、提案として学校再編による廃校に企業誘致をし



ひがしがきのりお 東垣 典雄 議員

廃校は大事な資産、企業誘致で有効活用を サウンディング型の市場調査で取り組みます

では、小学校の再編が進んでおり廃校は本町の大事な資産です。

全国でも少子化で毎年450校程度が廃校になる現状です。

地元の承諾を得ながら新しい考え方、アイデアで廃校を活用し企業誘致をすべきではないか。

町長 安定した就業

の場を創出する。

数値目標は新規就労者を6年間で70人増やすに
対し令和4年度は2人累計15人となっています。

廃校の活用ですが第二中学校につきまして、サウンディング型の市場調査による利活用提案募集、廃校バンクへの登録を行っています。



地理的条件が不利な本町が企業誘致の条件を大きく緩和することが町にとつてどうなのかということも複合的に勘案して対応していかなければならぬという大きな課題があります。
まずは香美町に目を向けていただく取り組みを検討していきます。

町政を問う!

一般質問

9月定例会での一般質問は12人の議員が町政全般について質問を行いました。

一般質問は、議員が町政全般について執行状況や将来に対する考え方など、現状や方針を問うものです。

議員一人当たりの持ち時間は、町長の答弁を除き30分以内と決められています。

内容については、議員本人が執筆(要約)したものを掲載しています。

(※QRコードでそれぞれの様子を視聴できます)



長井地区の招魂碑



増えてきた回収BOX

世界の中では、今もウクライナをはじめ戦火が続いている。
日本は来年戦後80年の節目を迎える。多くの戦争



みづか けんじ 議員 見塚 修

戦後80年平和尊さ事業の計画は!! 戦没者追悼式を引き続き継続します

体験者が高齢化する中、本町でも、平和の尊さを途絶えさせない事業も必要だと考えている。

- ①本町の戦死者の数は。
- ②町遺族会の会員数は。
- ③戦没者招魂祭の開催状況は。
- ④戦後80年平和尊さ事業の必要性と計画は。

- 町長**
- ①旧香住町と旧村岡町は第二次世界大戦のみ、旧美方町は、日清戦争以降の戦死者を把握し、香住区718名、村岡区419名、小代区190名、合計1327名を確認しています。
 - ②町遺族会の組織はなく、旧町毎に組織され、香住区197人、小代区54人、村岡区では近年急速に古紙回収の結果が出た。村岡区では近年急速に古紙回収の結果が出た。村岡区では近年急速に古紙回収の結果が出た。

- ③招魂祭は香住区で佐津地区以外の4地区と小代区で実施され、村岡区は実施していません。
- ④戦後80年として特別な事業は計画していません。各遺族会長の意見を考慮し、戦没者追悼式、子供平和映画祭を引き続き、継続します。



PTAは学校と家庭が連携し、子どもたちの学習環境を構築していくための重要な組織と思う。しかし、年々子ども数が減り、合



みなみまこと 議員 南垣 誠

PTA活動の補助と負担軽減を 昨年も多くの学校へ補助金を交付しています

わけても会員数も減少し、役員や活動の当番が頻繁に回ってくるなど負担が増えている。その上で資源回収が貴重な収入源となっており、学校もあるが、人手が不足し、車が出せない、子どもがいない集落もあるなど苦慮している。民間の回収BOXなどでも回収量が減少し、たところもあるように思う。

- 教育長**
- 資源回収に頼らず資金確保できるような活動資金、予算の補助を。
 - PTA予算が減ったため、できていた活動、スキー教室や遠足がなくなった学校はない。資源回収の結果を比較すると、小代区で僅かに、村岡区で大きく減少と結果が出た。村岡区では近年急速に古紙回収の結果が出た。

- 町長**
- 子どもたちの様々な体験や活動が学校行事として実施されるのであれば、その費用は支援をするが、任意団体であるPTAに対してさらなる支援をすることは考えていない。



町政を問う!



町の観光資源で町を活性化しよう



荒廃した農地

町内3観光協会が未だ統合できていない中、町の観光客誘致や観光ビジョンはどうか。また、町が参画している



にししかわ せいいち 議員 西川 誠一

「麒麟の町DMO」は鳥取砂丘を中心に据え観光を展開している。メリットはあるか疑問である。地域DMOで地域資源を商品化している南丹市美山町を視察してきたが、「観光客が来れば来るほど町が良くなる」という発想で活動し、公共交通の利便性も図ろうとしている。

香美町も地域DMO組織を作る考えはないか。**町長** 町内3観光協会の統合は、担当課も積極的に関り協議を進めています。統合はまだです。「麒麟のまちDMO」は鳥取県東部1市4町と兵庫県では新温泉町と香美町が参加し、観光圏も一致させることで圏域が持続

地域活性は新たな観光DMO組織で 現況のまま今後の検討をします



可能な地域となるよう進めています。鳥取砂丘は外国人観光客が多いので香美町にも波及効果はあると期待しています。また、新たなDMOについては、今後検討します。



こだい やすひと 議員 小谷 康仁

高齢化により農業をやめられる方々が増え、耕作放棄地も増えていくのが本町の深刻な問題です。耕作放棄地が増えると景観

が損なわれ、地域が荒れ、暮らしにくくなります。農林水産省では、人・農地プランから農業者や地域の皆さんの話し合いにより策定される、将来の農地利用の姿を明確化した「地域計画」が求められています。町民の方々が住みやすい環境とするために、将来を見据えた農地保全をどの

様に考えているのか伺います。**町長** 地域の農地をどのように守っていくかを地域の方で話し合って頂く。現在の農業者のみならず、非農家である方々にも話し合いに加わって頂き、住まれる皆さんがみんな農地保全に取り組んでい

歩となると考えます。町としても地域計画を進めていこうとされる集落についてサポートさせて頂くとともに、農業者にとって有効な補助制度等を広く活用いただけるよう推進し、遊休農地対策に努めていきたいと考えています。

将来を見据えた農地保全をどう考えてるのか 遊休農地対策に努めて行きたいと考えています





さらなる対策を！



幸せを運んでね!!

香美町の人口減少に伴い管理不全空き家が目立ってきた。その要因は、①生活に便利な他の地区や他市町に生活基盤を築



にしだに ひろし 西谷 尚 議員

②田舎の家や土地に資産価値がなく、遺産相続においても財産放棄をされるなど、分割協議に折り合いがつかず放置される。③相続人や親類が仕方なく維持管理しているが、費用がかかり管理不全となる。また、④建物を撤去することで住宅用地の特例措置の対象外となり、

固定資産税負担額が最大6倍の負担額になる可能性があるため、建物を放置。⑤解体費用が払えない。木造住宅の解体費用は最低でも300万円はかかる。『老朽危険空家除去支援助成金』等はあるが、審査の後、解体費用の6分の1もしくは上限33万3千円しか出ない。諸所の問題を解

決するためには上限金額を引き上げるべきではないか。
町長 本町の取り組みに関しては、県より評価を頂いています。今後、県の補助金と合わせて、活用対象者には丁寧な説明をし、金額も含め検討させていただきます。

老朽危険空家除去支援助成金をもっと増やせ 県より評価を頂いていますが、検討します



香美町の人口減少率は近隣自治体に比べても顕著で、産業振興をはじめ様々な支障の発生が危惧される。



ふじい まさひこ 藤井 昌彦 議員

③これまでの人口対策施策の成果、検証と結果は町長 結婚し、子どもを育てるのは個人の選択であり、子どもを希望され

③「町総合戦略、事業評価・検証シート」では、人口減

①(自然減)生まれる人数より亡くなられる人数が多いこと
②(社会減)若者が18歳を超えれば帰ってこないこと

る方に子育て環境の整備や経済的支援を行います。
②若い女性の町外への流出が著しく、希望する働く場の創出と仕事と子育てを両立できる環境の整備やワーク・ライフ・バランスなどの働き方改革が必要です。

少対策関連項目は、まだ計画の50%以下ですが今後3年間で目標達成に向け努力、人口減少の抑制を図る計画を策定していきます。

人口減少対策は 最重要課題です





今年の改善を待っていたのに



安心・安全な通学方法を

地域公共交通は、住民の足であり、通学や通勤、買い物、医療などなくてはならない乗り物である。とりわけ、運転免許証を持たない



たにくち しんじ 議員 谷口 眞治

子どもや高齢者にとって、移動の自由の保障そのものである。町民バスの関係であるが、町民バスの奥佐津・余部線デマンドの実証実験をやったが、本年10月からこの改正が見送られた。なぜ見送りになったのか。関係住民の期待を裏切ることにならないか。

再編の通学方法が決定していません。町民バスを利用する場合、全但バスの運

転手の確保が必要です。このことから、町民バス奥佐津・余部線のデマンド化に対応できるか、判断できない状況で、さらに、他の路線との利便性に大きな格差が生じないか、検討する必要があります。

なぜ見送りが。奥佐津・余部線の改善 運転手不足と利便性の格差の検討が必要です



町長 町民バス奥佐津・余部線のデマンド化について、実証実験を行い概ね良好な結果が得られたと感じています。しかし、近年のバス運転手不足が課題となり、令和8年4月の香住区小学校の第2次再編の通学方法が決定して

香美町香住区の小学生の通学方法は、佐津、柴山地区では、立って乗車することなく子供たちの安全を考えて



もりうら しげる 議員 森浦 繁

全員が座れるように考えて欲しいとの意見について問う
長井地区では、スクールバスにして欲しいと言う意見が、出ましたが、町民バスでの保護者の了解は得られたのか
町長 佐津、柴山地区の小学生の通学方法は令和8年度の対象児童が52

人のうち約半数が立って乗車しなければならぬ点について全員が着席できる方法を再検討し、2台体制による対応を検討することにしました。
令和8年度は佐津が1台柴山が1台というふうには乗車するとは出来ませんが子供の人数が減り令和9度からは佐津と柴

山に分れて乗車することが可能になります。
長井地区につきましては町民バスによる通学を一度了承していただきましたが、その後スクールバスに変更できないかという意見を頂き再検討しましたが、町民バスでの通学をお願いしたいと今現在考えております。

香美町香住区等再編検討について問う 再編検討委員会で示させてもらいます



町政を問う!

\\ その他こんな質問もしました //

質問議員	質問項目
南垣 誠	お伺いしてきた一般質問について町長に問う。(前編)
	お伺いしてきた一般質問について教育長に問う。(前編)
見塚 修	活力と安心・安全のまちづくりを求めて(Part2) (安心・安全編) 南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)発表による本町の実態を問う。
	(こまった編) 県政の混乱と停滞の本町への影響と収束について問う。
小谷 康仁	夏休み(夏季休業)の短縮の効果について問う。
西川 誠一	町の現状について問う。
	人口減少の歯止め対策は。 産業施策について問う。 (水産業編)
吉川 康治	町民に選ばれ続ける病院づくりについて
	町職員が町民のために健全に働き続けられる環境を構築していくことについて
西谷 高弘	認知症対策について問う。
森浦 繁	物価高騰対策について問う。
谷口 眞治	米不足と価格高騰について問う。
	マイナ保険証の導入について問う。 改正地方自治法の補足的指示権について問う。
田野 公大	今後の町づくりの視点について問う。



時代の変化に遅れるな

①第2期香美町総合戦略の中間評価について、目標達成が厳しいと感じているが、どのように捉えているか。



たの きみひろ
田野 公大 議員

町長 ①香美町は、人口減少と少子・高齢化に伴う地域活力の衰退に直面しており、第2期総合戦略を策定し、重要評価指標を設けて達成状況を確認してきましたが、令和4年度時点で目標の50%に達し

ていない項目が多く、人口減少の抑制が厳しい状況となっております。②未達成項目については、各所管課で毎年実績や効果を確認し、取り組み方針を作成。引き続き事業に取組み、少しでも目標に近づけるよう努めます。2026年度からの第3期総合戦略に向けて準備を進

め、施策や成果指標を検討しながら、香美町の創生に引き続き取り組んでいきます。

総合戦略の評価と今後の取り組みは
効果を確認し目標達成に努めます



香美創生	みらいの香美	清流会	夢望会
4人	1人	3人	3人
西川 誠一	東垣 典雄	藤井 昌彦	南垣 誠
吉川 康治 田野 公大 岸本 正人	—	松岡 大悟 西谷 尚	森浦 繁 小谷 康仁
285,000円	60,000円	180,000円	180,000円
174,500円	43,150円	48,495円	126,932円
		13,200円	
			68,565円
	46,176円	23,931円	
		7,637円	
174,500円	89,326円	93,263円	195,497円
110,500円	0円	86,737円	0円
<p>・調査研究</p> <p>11/20～21 京都府京丹波町でWCSによる耕畜連携。福井県おおい町で議会改革について調査研究を行う。</p> <p>2/13～14 神戸市及び北淡町を視察。防災及び減災に関する調査研究を行う。</p>	<p>・調査研究</p> <p>11/20～21 京都府京丹波町でWCSによる耕畜連携。福井県おおい町で議会改革について調査研究を行う。</p> <p>2/13～14 神戸市及び北淡町を視察。防災及び減災に関する調査研究を行う。</p> <p>・資料購入</p> <p>活動のために必要な新聞購読、図書等を購入。</p>	<p>・調査研究</p> <p>1/12～13 福井県鯖江市、越前市を視察。地場産業、ものづくりについて調査研究を行う。</p> <p>・研修</p> <p>11/30 新温泉町議会議員との意見交換。</p> <p>・資料購入</p> <p>活動のために必要な新聞購読、図書等を購入。</p> <p>・事務費</p> <p>活動のために必要な事務用品等を購入。</p>	<p>・調査研究</p> <p>5/3 三川権現大祭視察</p> <p>5/30 健康ひょうご</p> <p>6/28 旧学校跡地視察(熱田分校・小長湊分校・小城冬季分教場・作山分校)</p> <p>7/18 林道三尾御崎線崩落現場の視察</p> <p>7/19 会派合同勉強会</p> <p>10/10 おじろん視察</p> <p>11/20～21 会派合同視察</p> <p>2/13 豊岡ミーティング</p> <p>・広報・公聴費</p> <p>8/7 会報誌</p> <p>2/29 合同会報誌</p>

令和5年度政務活動費を報告します

香美町議会では、会派が実施する調査研究等に必要な経費の一部を政務活動費として交付しています。この政務活動費は、条例に基づき、議員1人当たり月額5,000円(年間60,000円)を会派に対して支払われます。令和5年度は、7つの会派が政務活動費の交付を受けて活動しましたので、その収支について報告します。

会派名	日本共産党 香美町議員団	新風会	香美町公明党
所属人数	1人	2人	1人
代表者	谷口 眞治	見塚 修	西谷 高弘
所属議員	—	上田 勝幸	—
交付額(a)	60,000円	120,000円	60,000円
調査研究費		69,332円	17,657円
研修費	24,160円	1,000円	
広報・公聴費		22,010円	
要請陳情等活動費			
会議費			
資料作成費			
資料購入費	36,536円	32,034円	
事務費			
人件費			
支出額合計(b)	60,696円	124,376円	17,657円
町への返還額(a)-(b)	0円	0円	42,343円
政務活動費を使った 主な活動	<ul style="list-style-type: none"> ・研修 10/24 「台風第7号での浸水被害のあった香美町香住区油良、間室地区での応急対応」勉強会。 1/17 阪神・淡路大震災29年メモリアル集会へ参加。 ・資料購入 活動のために必要な新聞購読、図書等を購入。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査研究 11/20～21 滋賀県高島市、長浜市、栗東市を視察。廃校利用について調査研究を行う。 ・研修 7/19 国民健康保険勉強会 ・広報・公聴費 視察報告日より発行 ・資料購入 活動のために必要な新聞購読、図書等を購入。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査研究 11/20～21 京都府京丹波町でWCSによる耕畜連携。福井県おおい町で議会改革について調査研究を行う。 2/13～14 神戸市及び北淡町を視察。防災及び減災に関する調査研究を行う。

この人にもあり

「村岡区大笹で様々な挑戦に取り組む
はたなか 畑中もゆるさん」

2024年8月に大笹ふれあいセンターを利用して「夏休み限定大笹みんなのこども食堂」を立ち上げた畑中さんにお話を伺いました。

◆移住のキッカケは？

2021年11月末一週間のメール『この冬はどうされますか？3ヶ月スキーやりたい放題！お部屋用意します！ご飯も付きます！手伝って欲しいことがあります！』っていうことで電車に飛び乗り現地を見学（笑）

当時はコロナ禍の大阪、緊急事態宣言により生活が制限される中、私を久しぶりワクワクさせてくれるメールでした。

選歴を過ぎ何のしがらみも制限もない自由な私にとって断る理由は無く、3ヶ月間毎日スキーを楽しめるなんて最高！とここで即決。2022年1月から3月末まで八チ北スキー場のゲストハウスにプチ移住。

50代で始めたスキーは、



雄大な八チ北スキー場

下手くそだけど山頂からの美しい景色に魅了され癒されハマりました。プチ移住の3ヶ月間は、本当に幸せでした。

そして益々山の魅力に取り憑かれた私の心の中に変化が。『大阪に帰りたいくないかも…』とゆうことで移住決定！（笑）

◆住みごころは？

毎朝山を眺めてコーヒーを飲み夜は星を眺めてワインを飲む生活。時間だけはいっぱいある60



料理教室での笑顔

代の移住ならではかもしませんが、田舎がない大阪育ちの私には毎日がリゾートです。

皆さんからよく『不便でしょう？』と言われるのですがそんなことは百も承知で移住しています。

ご縁のあった人・物・場所を大事にしながら自分の人生を楽しむ。今回の移住はこれまでの人生がくれた贈り物だと思っています。

女性の健康寿命は75歳と言われていて、それまで自分の「好き」に正直にシンプルに穏やかに暮らしたいと思っています。

◆こども食堂への取り組みは？

3回目の春を迎えた頃からお世話になっている村の皆さんへ、何かでき

ることはないか？とリサーチを開始。

過疎化する村、バスは1日5本（乗り継ぎ最悪）、コンビニやスーパーも無く、こどもたちには陸の孤島である村岡区大笹（私にも）、こどもが歩いて1人行ける居場所も無い。と言うことで区長さんに相談に行き、翌日にはふれあいセンターの鍵を頂きました！本当に最高の村です。

イメージは大阪下町の駄菓子屋さん。私が、こども時代にワクワクした場所です。これまでのイベント経験を活かして脳みそフル回転で、1週間後にオープンさせたのが「夏休み限定大笹みんなのこども食堂」です。毎日こどもたちに囲まれて私も楽しい夏休みになりました。



こどもたちのオアシス



笑顔がたえない区民

ました。そして私の想像以上の反響に戸惑いました。只今は、香美町初の正式な「こども食堂」設立の準備に追われております。

◆議会や行政に望む事は

過疎地域における子育て支援をもっと望みます。シンプルにこどもを産み育てたいと思ってもらえる環境づくりと取り組みが必要で。若い女性がこの香美町から出て行かない環境作り。そしてジェンダー意識の向上など。

日本は他の国と比較すると政治、経済でかなり低い水準であるという結果が出ています。香美町へ来てもっとそれを感じることが残念です。

◆編集後記

実りの秋を迎え、各地で祭りやいろいろな行事が行われました。

その中で石破総理は、衆議院議員総選挙を行うことで国民の信を問いました。

また、兵庫県でも知事選が11月17日に行われます。

国民の誰もが健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有すると日本国憲法に明記されていますが、そのことを皆さん「存じて」しようか。

選挙民の方でも、主権は自分たちにあるのだという認識のもと、政治の進路を決めるのは自分たちの決意だと思いが投票に行くことが何よりも大事なことでないでしょうか。

広報公聴常任委員会

- 委員長 南垣 誠
- 副委員長 西谷 尚
- 委員 松岡 大悟
- 小谷 康仁
- 藤井 昌彦
- 上田 勝幸
- 吉川 康治